



くれ

1037 号
2026 年 9 月 16 日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等からこの
情報が閲覧可！



メールはこちら→

社退時定賛生寿命



ブラックジャックによろしく 佐藤秀峰

危険な暑さの認識不足 家族が安心できる会社か

今年の猛暑は本当に大変だったと思います。お疲れさまでした。ですが、まだまだ暑い日は続きまうので体調を壊さないよう無理をしないようにしましょう。

今年、広島西郵便局では暑さ対策として、サマータイムの導入と軽四数台で広島局へ2パスを取りに行き、前日に個別組み立てをするという試みをしていました。前日に個別が済んでいると少しでも気温の低い時間に出発できる為、社員の安全を考えての施策だったこと。

呉局はどうでしょう？社員の安全を第一に考えた対策はあったのでしょうか？寧ろ減配置を推し進め、仕事量を増やすという暴挙を繰り返している罪は非常に大きいものではないでしょうか？

話を変わりますが、日本よりも暑く湿度も高い東南アジアでは日本よりも熱中症が少ないのはなぜでしょうか？いくつか理由があり、まず、日中の外出を控える生活習慣があり、服装が暑さ対策向きなこと。歩く速さや動作も日本より遅く、社会全体が熱中症にかかりにくい環境となっているからだと思います。

これに聞いてお解りだと思いますが、暑い時期に寒い時期と同じ仕事量だと人命を脅かすほど危険だということ。呉局の集配の方々は真面目すぎる人が多く、夏場でも無理をして冬場と同じスピードで配っています。結果として、呉局は「郵便物減少」しか見えず、猛暑でも減配置を何度も強行しました。

今後の予定

●9月19日(土) 10:00～
第38回広島県労連定期大会
ロードビル

●9月26日(土) 13:00～
第38回ヒロシマ労連定期大会
市民交流プラザ北棟5F